

全国鉄構工業青年部連合会

平成29年度 第3回 理事会議事録

◎日時:平成29年 9月 9日(土) 13:00~

◎場所:東京鉄構工業協同組合 事務局

《次第》

1:開 会 13:00~13:30

司会 :大塚 補佐 :伊藤

◎ 開会あいさつ 大塚

◎ 会長あいさつ 稲森

理事の皆様、多忙の中のお集まりいただきありがとうございます。だいぶ秋らしくなり涼しさを感じる頃となりました。季節の変わり目ですので体調には十分留意されますようお願い致します。

夏を過ぎた頃から、鋼材の価格上昇やスクラップの価格が上昇しており、鉄骨工事もようやく本格始動したのではと実感しております。

その様な中、人材の確保が非常に厳しくなり外国人労働者などを本格的に導入しようと地方のファブでも動きがあるようです。一方地方では、都心部との仕事量の格差が出始めています。

この様な中、更に我々全青会は確かな情報を収集、発信していくことが責務とされております。

本日は、全青会のありかたを考えていく協議もありますが未来ある業界にためにもご尽力頂ければと思います。宜しくお願ひ致します。

◎出席者の確認(定足数 :14人)

○本人出席 14名

(稻森、中辻、大塚、伊藤、池田、成澤(克)、小林、小泉、井上、中尾、守谷、渡邊、成澤(則)、中原)

委任出席者 0名

○他出席 0名

○BCオブザーバー 2名(全国大会の件 尾熊氏 ジャーナル 田中氏)

◎ 議事録作成人

○議事録作成人 総務委員 中原、小泉

◎前回議事録確認(伊藤)

7月14日金曜日に開催前日の全構協の意見交換会の報告

各地の市況報告・次年度の全国大会について。各委員会の協議報告

※別紙議事録より参照

◎ 成澤理事より四国BCとの意見交換会について

成澤理事が四国BC、経営力向上研修会に参加(1日目懇親会 2日目研修)

参加者は各鉄工所の経営幹部・社員であり総勢40名となりました。

四国BC青年部と親会が親密な関係が見受けられた。

※内容は今までの研修会よりも、鉄骨の裏話も多くなったように感じ研修内容が

ブラッシュアップしていると感じ取れた。

全構協の事業により、青年部は30名程度の参加であった。

研修会の内容はBC内で参考資料として、これから活動に使用する意向である。

2:協議事項 13:30～14:30

① 全構協と各都道府県会長との意見交換会について(アンケート報告など)

全青会はボトムアップ型の組織として形成された組織であるが、現状では全青会自身がどうあるべきと問われている状況です。

今回の意見交換会のアンケート報告書には、色んな意見が挙げられていること考慮し、これからの方針を見出して行くべきではないかと思います。

② 全青会理事と各ブロック長との意見交換会について

※①に対しての質問と同等の内容を討議していました。

※各BC内でも、今の全構協の各県の事業に対しての予算補助が降りていくことに対して、全青会の冠や会自体の必要性に賛否両論ある状態となっています。しかし業界として、このような状況が本当に望ましい状況ではない！と考えるべきではないでしょうか。

※前回のジャーナルのトップ記事に近畿地区が全青会の予算に関して、全構協の予算補助に頼らず、関東支部で予算対応する、と言う内容が記載されていたことに対しても討議しました。

③ 各ブロックの報告・告知等について(市況の総括)

○北海道BC報告

7月20日全構協の申請事業『働き方改革』パート①開催 パート②予定
道内でトレーラーが不足(他分野)しています。

○東北BC報告

各県、研修・ゴルフコンペ等を開催しています。

8月4日の東北サミット開催、議事録は掲載しているので拝見下さい。

研修会にて元日建設計の方に鉄骨Q & Aの講演依頼をしています。

市況はおおむね忙しい状況となっています。

ある工場に労基が入り、残業時間を指摘されたようです。

ゼネコンに対して図面の早期決定してもらい、遅延の場合は予算を別途計上して、工期を延長してもらうことを検討しています。

○関東BC報告

活動では役員会や各県、納涼会を実施。工場見学会等も開催されました。

新潟県での理事会にて京都府での会長会議の打ち合わせを実施しました。

稼働率の中で図面承認がおそい問題があり、工場加工に支障をきたす案件があります。

また、一次加工が多忙で材料が予定期日内に納品されないケースも散見し始めました。

○中部BC報告

BC研修会を開催、MOT講習会と日程を合同開催する予定です。

市況報告では、どこも年度内多忙となっています。

○北陸BC報告

福井県が40周年記念事業開催を予定しています。(稻森会長が出席の予定です。)

BCでは役員会開催をしHPの活用について協議していく予定です。

仕事は増加傾向であるが図面の遅れで工程の乱れが多く発生しているようです。

○近畿BC

各県、イベント等を開催しています。大阪・奈良では合同ファブディスカッションを開催しました。

BC事業は日程変更により3月16日に開催予定としております。

奈良が建築士会と合同工場見学会を開催予定です。

市況報告では年内は仕事量がありますが、人材不足が今後の受注において課題となりそうです。

○中国BC報告

岡山県主催でエンドタブ講習会を開催しましたが、協会の事務局の対応に不安があります。

改善や、今後予定しているBC等は事前打ち合わせ等を入念にお願いします。

市況としては山陰は仕事量が少ないが概ね多忙です。

全国大会に於いては8月7日に実行委員会を開催致しました。

○四国BC報告

9月30日に高知県が愛知県との交流会開催致しました。

BC活動は10月28日徳島県で定例会開催予定です。

市況報告として各社の稼働率は年内は80~100%を超える状況下です。また年明けも都心部を中心に案件も増加傾向です。

○九州BC報告

各县の事業は暑気払い等の懇親会や家族レクレーションなどを開催しました。

長崎県では新規青年部会員の勧誘の為企業訪問等を行っています。

BC活動として長崎県で研修会を行い日本最古のRC造が残る軍艦島の見学を行いました。

10月26日に沖縄県で理事会を開催予定しています。

鹿児島県がJSCAと合同研修を予定しております。

市況報告は都心部の仕事量はありますが地方の仕事量減少が気になる状況です。

確認申請等が遅れている状況で図面も遅れ、鉄骨加工工期が無い状況が多く発生しています。

◎次年度全国大会の進捗状況について 尾熊氏より報告

大会スケジュール・大会概要変更は特にありません。会場は予約完了致しました。

講師のスケジュールを抑えています。(内容に関しては、講師にお任せする方向です。)

全青会の理事会は4月20日金曜日に開催。出席人数確定後、会場予約し予算計上します。

広告協賛の案内文を協議します。当日の会場の使用条件に基づき展示に関しては別会場を設けます。

予備登録案内を早急に作成し配信させて頂きます。※雑形があれば守谷理事にメールしてください。

全青会として来賓予定者もピックアップしてください。

総会資料の期限を平成30年3月17日に入稿予定として計画します。

3:委員会討議 14:30~16:00

- ① 各委員会に分かれて協議を行いました。

4:審議事項 16:00~16:40

① 委員会の事業方針案について

1) 委員会①の事業計画等について 担当:大塚

9月8日の鉄骨110番問い合わせについて、返信は今回0件でした。

もう一度配信して10月末期限にする予定です。

ボランティア活動としてノズル・チップ回収し換金から、車いすを届ける予定とします。

送り先に関しては広島県に知事に送る予定で活動致します。

依頼分を11月21日までに配信し約3ヶ月かけて、BCで回収する予定でしたが、各県で換金する方向で検討しております。全国の会員に情報配信をいかにするかと、BC長に主旨説明して、各県に協力依頼をしていく予定としております。

欠陥サンプルに関しては、東京都に貸し出し予定です。

2) 委員会②の事業計画等について 担当:中辻

全国大会ではBC事業・県の事業をアップする予定で、各県に対してBC長及び、井上理事にも

タイムリー掲載できるように指導していきたい。発表方法に関しては引き続き検討していきます。

事業報告は時間調整する予定です。

HPは今までのもの、議事録の長文に関して、もう少し簡素化してどうか?の案が出ました。

東京都内にてサーバー企業と打ち合わせを実施する予定です。

10月21日にホームページを更新する予定です。

3) 総務委員会の今後の予定等について 担当:中原

10月21日全青会とのBC長意見交換会の資料作成し10月初旬に配信予定とします。

11月7日全青会理事会までに各BC役員改選を全青会理事に報告願います。

次年度の予算書関係を作成を行い、全構協とも協議を進めていく予定です。

引き続き各BC事業に全青会理事が参加を行い全青会の「見える化」を推進します。

② その他について

次年度人事案について

* 各ブロックに対し、各ブロック1名の次年度理事の選出案内

* 次年度理事3役の執行部案について

北海道BC・近畿BC・中国BCが次年度理事予定者

会計の池田理事より

今年度の会費の入金はすべて終了いたしました。ご協力有難うございました。

また、各BCに50,000円の補助金の振込先を会計まで連絡するよう伝達願います。

オブザーバーのジャーナル田中氏より

この夏にきてようやくファブの本格稼働し始めて、多忙な時期が当分続きそうです。

一方で、どの地方でも図面の遅れに対する問題が見受けられております。

青年部としても、この問題に取り組んでいただきたいのと今後、全国でしか出来ないボランティア活動に対しても業界を通じて期待を寄せております。

5:今後のスケジュール

ブロック長・全青会理事との事前会議 平成29年10月21日(土)

全構協と各ブロック長との意見交換会 平成29年11月7日(火)

次回 第4回 理事会:平成29年11月18日(土) 13:00 開始 場所:東京

6:そ の 他

懇親会 18:30~

7:閉 会

